

平成 29 年度事業報告書

一般社団法人 日本聴導犬推進協会

事業期間：平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 2 月 22 日

事業実施拠点：埼玉県ふじみ野市亀久保 2201

役員：理事 9 名 監事 1 名 理事会開催：5 回開催 総会：3 回開催

事業担当：職員 7 名

一般社団法人として事業を開始してから 3 年目の途中であるが、内閣府より公益認定を受けたため、2 月 22 日で事業終了となった。聴導犬育成事業に関しては、12 月 14 日に名古屋市総合リハビリテーション事業団より 1 頭認定を受けた。普及活動に関しては、例年通りの活動内容の他に、全国放送のテレビ番組等で紹介されるなど、従来の活動から結びついた依頼や、協会の候補犬・ユーザー・職員の様子等を 1 冊の本にまとめた「聴導犬のなみだ」が出版されるなど、幅広い分野で聴導犬の普及活動を行えたと言える。また、育成状況や広報活動からのつながりでの支援も増えてきており、年度を重ねるごとに協会の体制も安定してきていると言える。

1. 候補犬の導入及び育成に関する事業

1. 候補犬の育成

候補犬育成等数 7 頭（内：合同訓練前 2 頭・候補犬 5 頭）

5 月から大阪で合同訓練を開始し、12 月 14 日付で認定試験に合格し、聴導犬としてデビューさせた。また、東京で認定試験を受験予定だった候補犬は、希望者の都合により次年度前半の実施に変更となった。

また、次年度合同訓練実施予定で、1 頭の候補犬が社会参加訓練の本格実施に入り、希望者とのマッチングを実施した。

2. 候補犬の導入

子犬の減少と共に候補犬の選択実施回数が激減。行政機関 2 回所で計 3 回の実施と、愛護団体系で 2 回の実施、遠方の子犬に映像による判定で、候補犬の選択を実施。どのケースも候補犬として導入するに至らなかった。

PR 犬の候補も必要であったため紹介があった 1 歳未満の候補犬を導入したが、性格的な問題があったため、キャリアチェンジとなっている。

他の補助犬育成団体にも声掛けを行っているが、候補犬として導入できるような犬が居ないとの返答が続いている。

3. 希望者相談・希望者対応

新規希望者相談 3 名・昨年度からの相談継続 1 名・代替え希望 1 名

新規希望者 3 名は、資料の送付及び初期の連絡段階で終了。相談の継続 1 名に関しては、生活状況の安定が図れないため、次年度に持ち越し。代替え希望者 1 名に関しては、来年度合同訓練開始予定で、マッチングを済ませている。

2. 聴導犬の普及・啓発に関する事業

1. 聴導犬の講演及びデモンストレーション

イベント参加及び講演依頼等が年間 62 回。小学校への学習協力 12 件。団体研修の受入れ 5 件。協会主催イベント 9 回。イオン黄色いレシート店頭活動 2 店舗計 18 回。

2. インターネット系普及活動

SNS を使用した普及活動において Facebook の掲載回数（年間 26 回）の減少や広告掲載の減少により「いいね」数は 20,838 となり年度初めより 30 減少。Twitter の投稿回数（年間 251 回）や内容を充実させ、フォロワー数やリツイート数を増やすことに成功した。

HP では、お知らせ 12 回、活動日誌 5 回の更新及びイベント情報の掲載の掲載を行った。

3. マスコミ取材

Web マガジン 1 件 TV 3 社（日本テレビ 2 件 韓国 SBS1 件）・企業紙 5 社・ラジオ 1 件・本 4 件となった。ユーザーに対する取材依頼が多く、聴導犬の普及にはつながっていると感じられた。また、犬たちやスタッフに焦点を当てた「聴導犬のなみだ」が出版され、大きな反響を得ることができている。

3. 聴導犬の貸与・再訓練に関する事業

1. 聴導犬の貸与

継続貸与 4 頭。（東京 3 頭・埼玉 1 頭）新規 1 頭

2. ユーザーフォロー

引退時期の相談及び代替え聴導犬の相談が 1 件。随時、各ユーザーに対し生活状況の確認及び聴導動作の確認を実施。イベントに参加してもらいながら、社会参加状況の確認を行う。

4. 一般への引退犬・キャリアチェンジ譲渡事業

候補犬からの譲渡 2 件。譲渡指導 2 件。引退犬譲渡 1 件

5. 聴導犬訓練士の育成及び認定に関する事業

1. 研修生事業

本年度は、研修生の適合者が居なかったため、研修生事業は行っていない。

次年度事業として、研修生の募集を行ったが、適合者が居なかった。

2. 高校の授業協力

1 校に対し、カリキュラムを組み聴導犬の訓練に関する授業指導と手話に関する指導を実施。文化祭での発表でデモンストレーションを行う。手話に関しては、手話検定を受験し、受講者の生徒が数名を除き合格した。

6. その他

1. 寄付獲得事業

1. 街頭募金

東武鉄道との提携で、川越駅改札口前で街頭募金を 20 回実施。

2. 募金箱の設置

113 か所に設置。平成 29 年度 54 か所から回収を行う。

3. 企業提携

寄付システム及び募金システムを導入している企業・団体と提携し、寄付金を獲得した。

4. 企業 C S R

2 社 C S R 活動として聴導犬の普及活動への協力及び寄付。企業によっては、聴導犬育成のために必要な物品の支援あり。

5. 寄付付き自動販売機

コカ・コーラ、サントリー、西武商事の 3 社が展開し、全国 19 か所設置。

6. 物品寄付

使用済み切手・未使用切手・書損じはがき・犬用タオル・金券・テレフォンカード・犬用品・ドッグフード等の寄付品を受取った。使用済み切手や金券等は、オークションに出品して現金化。テレフォンカードは、N T T に送付して通信費の一部として活用した。使用済み切手 54,000 円 テレカ・はがき・切手 124,052 円 寄付品（タオル・フード・ペットシーツ等）43 件

2. 物品販売事業

各種イベント会場及びインターネットサイトによるオリジナルグッズの販売を実施した。

平成 29 年度事業報告書

公益社団法人 日本聴導犬推進協会

事業期間：平成 30 年 2 月 23 日～平成 30 年 3 月 31 日

事業実施拠点：埼玉県ふじみ野市亀久保 2201

役員：理事 9 名 監事 1 名 理事会開催：1 回開催 総会：1 回開催

事業担当：職員 7 名

2 月 22 日に内閣府より公益社団法人として認定され、第 1 期目の事業報告となり、事業期間は 39 日間となっている。

1. 候補犬の導入及び育成に関する事業

1. 候補犬の育成

候補犬育成等数 4 頭（内：合同訓練 1 頭・候補犬 1 頭・キャリアチェンジ 2 頭）

来年度前半の認定試験に向けて、東京の希望者との合同訓練を進めた。また、来年度合同訓練及び認定試験に向けて、埼玉県の聴導犬の代替え犬の訓練を進めた。

2. 候補犬の導入

子犬の減少の影響で、各提携行政に連絡を取っているが、候補犬となる子犬を見つけることができなかった。

3. 希望者相談・希望者対応

新規希望者相談 0 名・昨年度からの相談継続 1 名・代替え希望 1 名

相談の継続 1 名に関しては、生活状況の安定が図れないため、次年度に持ち越し。

代替え希望者 1 名に関しては、来年度合同訓練開始予定で、マッチングを済ませているため、こまめに連絡を取り合い、訓練計画の作成等を進めている。

2. 聴導犬の普及・啓発に関する事業

1. 聴導犬の講演及びデモンストレーション（PR 犬 2 頭）

イベント参加及び講演依頼等が 6 回。小学校への学習協力 1 件。団体研修の受入れ 0 件。協会主催イベント 0 回。イオン黄色いレシート店頭活動 2 店舗計 2 回。

2. インターネット系普及活動

SNS を使用した普及活動において Facebook の掲載回数（年間 2 回）。Twitter の投稿回数（年間 26 回）や内容を充実させ、フォロワー数やリツイート数を増やすことに成功した。

HP は、公益法人への変更に伴い、内容の変更を実施。

3. マスコミ取材

Web コラム 1 件 TV1 社（NHK 取材打合せ中）「聴導犬のなみだ」関係の取材依頼が入り、来年度の撮影・放送が決定。

3. 聴導犬の貸与・再訓練に関する事業

1. 聴導犬の貸与

継続貸与 3 頭。（東京 1 頭・埼玉 1 頭・大阪 1 頭）

2. ユーザーフォロー

引退時期の相談及び代替え聴導犬の相談が 1 件。随時、各ユーザーに対し生活状況の確認及び聴導動作の確認を実施。イベントに参加してもらいながら、社会参加状況の確認を行う。

4. 一般への引退犬・キャリアチェンジ譲渡事業

引退犬譲渡 2 件

5. 聴導犬訓練士の育成及び認定に関する事業

1. 研修生事業

本年度は、研修生の適合者が居なかったため、研修生事業は行っていない。

2. 高校の授業協力

次年度の授業が決定したため、カリキュラム作成等の打合せを行う。

6. その他

1. 寄付獲得事業

1. 街頭募金

東武鉄道との提携で、川越駅改札口前で街頭募金を 3 回実施。

2. 募金箱の設置

113 か所に設置。

3. 企業提携

寄付システム及び募金システムを導入している企業・団体と提携し、寄付金を獲得した。

4. 企業CSR

2 社CSR活動として聴導犬の普及活動への協力及び寄付。企業によっては、聴導犬育成のために必要な物品の支援あり。

5. 寄付付き自動販売機

コカ・コーラ、サントリー、西武商事の 3 社が展開し、全国 19 か所設置。

6. 物品寄付

使用済み切手・未使用切手・書損じはがき・犬用タオル・金券・テレホンカード・犬用品・ドッグフード等の寄付品を受取った。使用済み切手や金券等は、オークションに出品して現金化。

2. 物品販売事業

各種イベント会場及びインターネットサイトによるオリジナルグッズの販売を実施した。